

ソイルモディフィケーション

(harachu Soil modification)

発芽専用育生水・地質改良及び農作物ミネラル吸収力向上剤
稲作編

参考資料

株式会社 原 忠

〒581-0039

大阪府八尾市太田新町4-84

Phone 0120-712-107

facsimile0120-712-108

Web <https://soilmodefication.jp>

E-mail 3211@harachu.jp

浸種

種籾の選別が終わった物から浸種をしてもらいます。
従来工法で殺菌の意味などでお湯につけてから浸種される方は、殺菌されてから浸種を行ってください。ただし殺菌して頂くお湯の沸かす水もソイルモディフィケーション1000倍柄杓の水をご使用下さい。

もみ種をJA様等から購入して殺菌済み分を購入されておられる方は、そのまま浸種を行ってください。

浸種の間の水の循環をして頂くと更に効果が上がりよい稲になります。浸種している水に酸素を含ませる事で、より良い状態になり強い芽が出ます。根の張り等をご確認下さい。
ソイルモディフィケーション1000倍柄杓の水を使用品時よりほぼ1.5倍の根の量になります。

育苗箱・種箱への播種

籾種の量ですが・・・

種箱1つ当たり197グラム位（浸種が終えた水分を含んだ状態での重量にて）の籾種を基準。

自動播種機を使用して下さい。従来より少なめで播種して頂くようにお願いします。植える際に苗1～2本で田植機に植えて頂く事になります。

育苗期

浸種の際に使う水をソイルモディフィケーション×1000倍柄杓水を使用して下さい。普通の水と違いナノサイズの分子の大きさですので、浸透する力が大きいです。その為に水の減りが多くなりますのでご注意頂き水の量の確認をお願いします。

苗床（育苗箱・種箱）にあげる水もソイルモディフィケーション×1000倍柄杓の水をあげて下さい。

ソイルモディフィケーション×1000倍柄杓の水を使用しますと、苗の水を吸収するスピードが速いのでこまめに苗床の乾きを見てもらい水をあげて下さい。

育苗機をご使用される場合に加湿スチームの水もソイルモディフィケーション1000倍柄杓の水をご使用ください。

田んぼの水はり前の準備及び水張り

出来ればで結構です。

耕す前に高圧ポンプ等を利用してソイルモディフィケーション×1000倍柄杓の水を散布する。1m²/0.5リットルを散布す

1 a 当たり	50リットル
10 a (1反) 当たり	500リットル
1 ha (1町) 当たり	5,000リットル

水張りは、掛け流しをしないでください。蒸発分のみ水を補給する様にお願いします。

水以外は、従来農家様のやり方で育ててください。

肥料等も水で柄杓する場合ソイルモディフィケーションを1000倍柄杓の水で混ぜて頂くと吸収が促進されます。

肥料は、従来通りをお願いします。ソイルモディフィケーション×1000倍柄杓の水を使う事でより肥料の栄養分を根から茎をへて実には運ばれます。

田 植 え

稲の本数を2～1本程度で植えてください。

分けつにて

間隔は、縦横30cm間隔です。

稲の本数が少ないので倒れる確率が多くなります。

1反当たり6.5枚～7枚程度です。

田植えの前にシロカキ後すぐに田植機で植えて頂くと倒れにくいです。

田植機の稲横送りのダイヤル調整が必要です。田植機により異なりますが、最低メモリに合わせて頂き調整ください。

除草について

除草剤をお使い頂いてかまいません。除草剤の使用上の注意をお読み頂きご使用下さい。

カメムシ対策

時期が来るとカメムシ対策で農薬を散布されると思います。ソイルモディファイケーションを使用した稲分は、カメムシ対策用農薬の散布剤に柄杓する水1/1000のソイルモディファイケーションをまぜて散布してください。農薬の吸着を助けます。

生育と実り

水を抜きの時期は、今まで通りのタイミングで行ってください。実りの時期になりますと下記の事をよく観察ください。

- ①稲の分けつ
- ②稲のたおれ
- ③稲穂の実りとたれ具合
- ④刈り取り時の米粒の大きさ

刈り取り後

刈り取り後、多毛作するしないにかかわらず、田んぼが乾いてから、ソイルモディファイケーション×1000倍柄杓水を水はり前と同様に散布頂くと次の収穫に差が付きます。

経過のご報告



田植えから

1日

兵庫県南あわじ市



田植から

6日

田植えから

28日



田植えから

42日



田植えから
56日



テキストを入力してください



稲の分けつ
にご注目下
さい。

田植えから
70日



田植えから

83日



田植えから
98日



田植え時に1~2本の稲を植えた稲が分けつを繰り返して
ここまで大きく育ちました。